

かほく

ワークシート

問題

【新聞から学ぶ英語の発音「m? n?」】

英語の「ん」の発音を意識して使い分けられれば、英会話のリスニング力が向上し、単語のスペリング（つづり）の間違ひも減らすことができます。

○「m」の発音

「m」は口を閉じたまま、「ンー」と音を出します。鼻に空気の圧力が感じられれば合格です。日本語の「マミムメモ」は口先だけで音を出しますが、英語では口の奥から鼻のあたりで音を出すので、音がこもります。

【練習】

- ・ mission impossible (実行不可能な使命)
- ・ the Olympic Games (オリンピック競技大会)

○「n」の発音

「n」は口を軽く開き、舌全体を持ち上げ、上の歯茎^{はぐき}につけたまま「ンー」と音を出します。「n」も鼻に空気の圧力が感じられます。鼻を使って音を出すのは「m」と同様で、日本語の「ナニヌネノ」は口先だけで音を出しますが、英語では口の奥から鼻のあたりで音を出すので、音がこもります。

【練習】

- ・ She can dance very well (彼女は上手にダンスができる)
- ・ the United Nations (国際連合)

(中学・高校／英語)

20日にあった羽生結弦選手の新モニユメントデザイン発表式で、主催者の仙台市などでつくる実行委員会は、デザイン披露に使用した新モニユメントの複製品に、アルファベットの誤表記があったと発表

Oly「n」pic?

複製品に誤表記

表した。「SEIMEI」の冒頭シーンを描いたデザインの隣に書かれた英文の中で、「Olym pic(オリンピック)の文字を「Olynpic」と誤記した。「m」を「n」と間違えた。外部からの指摘で、当日に誤りに気付いたという。29日に設置される実際のモニユメントに表記ミスはないという。市の担当者は「制作段階で確認漏れがあった」と釈明している。

「m」と「n」は簡単に発音できるように思いがちですが、実は多くの人は正しく発音できていません。これもカタカナ語の弊害^{ひがい}です。実際には多少変な発音でも、たいていの英語ネイティブスピーカー(英語を母語とする人)は文脈から理解して

出題者から

くれます。しかし、発音の仕組みを理解し多少の練習を積み、正しい発音はできるようになります。さあ、始めましょう！

(日本新聞協会NIEアドバイザー・名取北高英語科教諭 大槻欣史)